平成21年度

外部評価委員による
新潟薬科大学薬学部自己点検・評価表

平成22年6月

新潟薬科大学薬学部

はじめに

平成18年度からスタートした6年制薬学教育ですが、平成21年度はCBT、OSCEといった初めての共用試験本番を迎えた節目の一年でもありました。また数年後の薬学教育評価機構による6年制薬学教育の第三者評価を控え、「自己評価２１」という形でここまでの本学の6年制薬学教育を検証する年でもありました。教職員全員のご努力により、一つの関門を大過なく通過できたことを感謝しております。

一方薬科大学を取り巻く状況は好転する兆しもないまま、5年次の長期病院・薬局実務実習が始まりました。このような状況を乗り越えるためには、これまで以上に魅力のある6年制教育プログラムを準備して、知識・技能・態度に優れた卒業生を薬剤師として社会に送り出すこと、同時に大学での研究成果をもとに医療や健康への学術的、教育的な拠点として地域社会に貢献していくことが本学にとって重要であると考えます。

薬学部では、平成18年度から学外の評価委員の先生方による外部評価制度を実施しています。教員の日ごろの教育・研究に関する活動状況に対して、辛らつなご指摘もありますが、薬学部の発展ならびに教員への励ましの意味を込めたご意見、ご助言であると感謝しています。今年度の外部評価においては、主要な委員会委員長にお願いして委員会での取組み報告と将来への改善に向けた意見交換会をパネルディスカッション形式で開催しました。各委員長からは2年あるいは4年間の委員会活動を総括的にプレゼンしていただきましたが、熱心にメモを取る若手の教員の姿もあり、教員のFDとしても良い試みであったように思います。

外部評価をまとめた今回の冊子と「自己評価２１」をまとめた冊子は、いわば対になったものであり、これからの本学薬学部の進むべき道を示した資料ともいえます。また各教員が、大学を良くするにはどのようなアクションを起こせば良いかを考える資料でもあります。教員各自が「教育力」と「研究力」の両面に一層の自己研鑽をすることで、大学のブランドイメージの向上に繋がることを期待しています。

平成21年6月

平成21年度
薬学部　自己点検・評価委員会

薬学部自己点検・評価委員会

委員長	北川　幸己　教授（学部長）
委員	長友　孝文　教授
委員	上野　和行　教授
委員	杉原　多公通教授
委員	鍋倉　智裕　准教授
委員	田辺　顕子　准教授
委員	山口　利男　助教

外部評価委員

廣部　雅昭　先生	静岡県学術教育政策顧問
松木　則夫　先生	東京大学薬学研究科教授
本多　利雄　先生	星薬科大学教授

目 次

１．外部評価の日程　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　1

２．パネルディスカッション

「本学薬学部の現状と将来への取組」・・・・・・・・・・・・・・　3

３．外部評価委員による総評・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・35

４．資料「新潟薬科大学　中期目標」　・・・・・・・・・・・・・・・39

５．各研究室の研究内容ポスター掲示（写真点描）・・・・・・・・・　45

６．外部評価委員による委員会活動評価・・・・・・・・・・・・・・・47

1．外部評価の日程

1. 外部評価の日程

日時：平成２２年２月２３日（火）　午後

場所：臨床大講義室（CB-201）　および　カフェテリア

外部評価委員：

廣部　雅昭先生　（静岡県学術教育政策顧問）

松木　則夫先生　（東京大学薬学研究科教授）

本多　利雄先生　（星薬科大学教授）

第１部　　（14：00～　臨床大講義室）

パネルディスカッション　「本学薬学部の現状と将来への展望」

司会：　北川　幸己、上野　和行

－主要な委員会からのプレゼンテーション－

１．入試委員会・・・・・・・・・・・・・・・・中村辰之介　委員長

２．教務委員会・・・・・・・・・・・・・・・・杉原多公通　委員長

３．学生委員会・・・・・・・・・・・・・・・・尾崎　昌宣　委員長

４．臨床実務教育委員会・・・・・・・・・・・若林　広行　委員長

５．共用試験対策委員会・・・・・・・・・・・北川　幸己　委員長

朝倉　俊成　OSCE 実行委員長

６．高度薬剤師教育研究センター・・・・・・長友　孝文　センター長

７．大学院薬学研究科・・・・・・・・・・・・北川　幸己　研究科長

－総合討論－

第２部　　（カフェテリア）

ポスター掲示による各研究室の研究・教育に関する取組紹介及び懇親会

2．パネルディスカッション

「本学薬学部の現状と将来への取組」

～主要委員会からの取組報告と将来への改善に向けた意見交換～

1．入試委員会・・・・・・・・・・・・・中村　辰之介委員長

2．教務委員会・・・・・・・・・・・・・杉原　多公通委員長

3．学生委員会・・・・・・・・・・・・・尾崎　政宣　委員長

4．臨床実務教育委員会・・・・・・・・・若林　広行　委員長

5．共用試験対策委員会

　　CBT について・・・・・・・・　北川　幸己　委員長

　　OSCE について・・・・・・・・・朝倉　俊成　実行委員長

6．高度薬剤師教育研究センター・・・・長友　孝文　センター長

7．大学院薬科学コースについて・・・・北川　幸己　研究科長

8．総合討論

　　外部評価委員・・・・・・・・・・広部　雅昭　先生（静岡県学術教育政策顧問）

　　　　　　　　　　　　　　　　　　松木　則夫　先生（東京大学教授）

　　　　　　　　　　　　　　　　　　本多　利雄　先生（星薬科大学教授）

　　進行係・・・・・・・・・・・・・上野　和行　教授

　　　　　　　　　　　　　　　　　　北川　幸己　学部長

入学試験と入試広報活動

薬学部入試委員会

(広報活動を含む)入試委員会報告
応用生命科学部と共通の入試業務
推薦入試・一般入試・センター試験入試

入試種別	定員	試験日
特別選抜入試	若干名	平成21年11月14日
推薦入試	67名	
一般入試(1期)	90名	平成22年1月27日
一般入試(2期)	7名	平成22年2月19日
一般入試(3期)	3名	平成22年3月15日
大学入試センター試験入試(A日程)	10名	－
大学入試センター試験入試(B日程)	3名	－
	180名	

推薦入試合格者への入学前準備教育
(文部科学省:平成19年度私立大学等経常費補助金特別補助　採択課題)

推薦入試合格者へ「英語・数学・化学・生物・物理」の演習用テキストを郵送し、本学教員と回答・採点等のやり取りを行う

一般入試

一般入試（1期）
14試験会場

今年度から、学費減免試験を導入(一般入試1期)

1期入試の成績上位25位までは、1年間の学費を全額免除する（26位から75位までは45万)

薬学部 1年次納付金

入学金	授業料	施設設備資金
30万円	120万円	90万円

成績上位25位に達しない者～75位までの者

30万円	120万円	45万円

成績上位25位までに入った者

30万円	0万円	0万円

今年度から、学費減免試験を導入(一般入試1期)

1期入試の成績上位25位までは、1年間の学費を全額免除する（26位から75位までは45万)

推薦入試合格者に対して、学費減免試験を受験することを奨励し、80%（52人/65人）受験した

有名校の受験生が増え、上位25位までの成績者の手続きは昨年よりも約1.5倍増加

センター試験入試

今年度センター試験の会場

平成22年1月16日・17日
大学入試センター試験

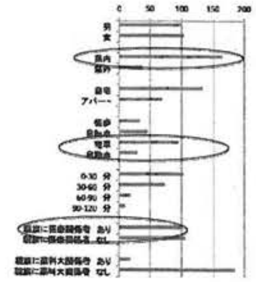
新潟薬科大学試験場
志願者数：449名

大学名	志願者数
新潟大学	4,468
長岡技術科学大学	1,331
上越教育大学	813
敬和学園大学	502
新潟工科大学	473
新潟薬科大学	449
新潟経営大学	443
新潟国際情報大学	429
新潟県立看護大学	408
長岡造形大学	401
新潟青陵大学	366
日本歯科大学	293
長岡大学	213

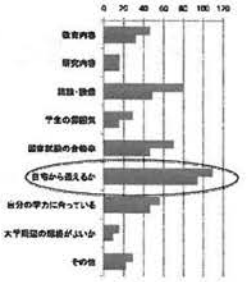
広報活動のためのアンケート調査

対象：1年生　実施日：7月28日

1. 学生情報



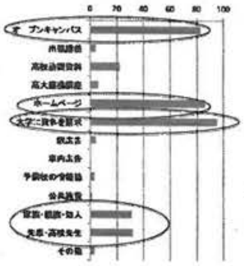
2. 本学を選ぶ際に
考慮したこと（青）　最終的な決め手（赤）



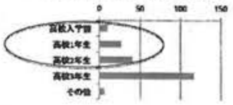
広報活動のためのアンケート調査

対象：1年生　実施日：7月28日

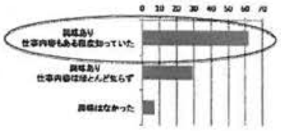
3. 大学の情報収集



4. 薬学部進学を決めたのは？



5. 薬剤師の仕事に関して



（広報活動を含む）入試委員会報告
応用生命科学部と共通の入試業務（H19から）
推薦入試・一般入試・センター試験入試
県内入学者が多数・親族に医療関係者
高校生へ薬剤師/薬学情報を伝える広報活動

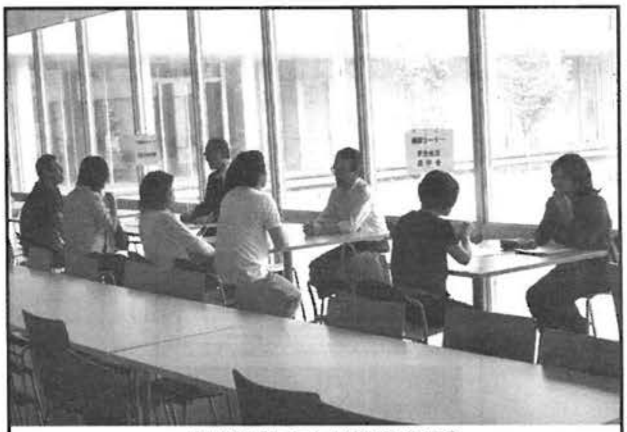
オープンキャンパス

ミニ講義

キャンパスツアー

在学生とのフリートーク

ミニ実験



保護者向け進学相談

オープンキャパス参加者入試出願率
65%(2008年度入試)

(広報活動を含む)入試委員会報告
応用生命科学部と共通の入試業務(H19から)
推薦入試・一般入試・センター試験入試
県内入学者が多数・親族に医療関係者
高校生へ薬剤師/薬学情報を伝える広報活動
オープンキャンパス
在校生・卒業生・受け入れ側からのメッセージ

（広報活動を含む）入試委員会報告

応用生命科学部と共通の入試業務（H19から）

推薦入試・一般入試・センター試験入試

県内入学者が多数・親族に医療関係者

高校生へ薬剤師/薬学情報を伝える広報活動

オープンキャンパス

在校生・卒業生・受け入れ側からのメッセージ

他の人のために働く意志を持つ薬剤師

アドミッションポリシー・高校への広報活動

新潟薬科大学
アドミッション・ポリシー

新潟薬科大学は、生命の科学を基本に薬と食を通じて国民の健康に貢献しようとする強い意志・資質を有する 学生を受け入れます

社会と人のために役立とうとする意欲

医療を通じて社会に尽くす

(広報活動を含む)入試委員会報告
応用生命科学部と共通の入試業務(H19から)
推薦入試・一般入試・センター試験入試
県内入学者が多数・親族に医療関係者
高校生へ薬剤師/薬学情報を伝える広報活動
オープンキャンパス
在校生・卒業生・受け入れ側からのメッセージ
他の人のために働く意志を持つ薬剤師
アドミッションポリシー・高校への広報活動
広報アドバイザー：濱田・田中・加藤先生
1.5倍年限で1.5倍の学費で同じ薬剤師免状？
４年制薬学では薬剤師教育をしてこなかった
６年制薬学教育では薬剤師教育を行う

過労状態である勤務医/臓器別の専門
地域医療の崩壊/自分の町で死ねない・・・という問題
病気を診断するのは医師
治療方針作成をサポートする薬剤師
免疫力/暖かい看護/クスリの力
チーム医療の一員
住民の健康に対する最初の相談窓口
人々の健康をサポートし、受診を勧める
副作用・慎重な薬の使用
薬のエキスパートである薬剤師の力
薬剤師という自分の未来
なにを考え・行動するかにより未来は変わる！

- **新潟県内の高校生に対して魅力ある大学**
- **新潟大学医学部と緊密な関係の構築**
- **偏差値を上げる**

以上、(広報活動を含む)入試委員会報告

教務委員会

杉原多公通・渡邊賢一・小宮山忠純・朝倉俊成
星名賢之助・武久智一・福原正博・佐藤浩二
生野昭雄・長越暁子・市川和明・神田優作・服部貴史・吉田智子

教務委員長の任期4年間
様々な教育の取り組みに
お付き合い・ご協力いただき
ありがとうございました

教職員の皆様のご協力で
他大学も羨むような
コンテンツをもつ大学に変われました

次の4年間の飛躍を期待しながら...

中高大連携講座
入学前準備教育
cyber-NUPALS
学年総括試験
WEB演習
転学部試験
実習事前学習
臨床実務実習
卒業研究
連携教育(IPE)
薬剤師生涯教育

高校

- 理科・教養教育の充実・改善支援(尾崎・白崎・太田)
- 「科学の祭典」支援(北川・浅田)
- SSH支援(長友・尾崎・杉原他)
- SPPプロジェクト(飯村他)

新潟薬科大学薬学部

入試委員会

- 介護老人保健施設への早期体験実習および報告検討会(影向他)
- 高度コミュニケーション能力を持つ薬剤師の養成を目的とした教育プログラム(武久他)
- アクティブ・ラーニング手法を用いたアドバンスト薬学教育プログラム(杉原他)
- 不自由体験を通した医療人としての人間性涵養への取組(杉原他)
- 効率的な学習を促す情報収集能力向上プログラム(杉原他)

臨床実務教育委員会

教育著作権セミナー(メディア教育開発センター)

共生型大学連携(新潟医療福祉大学)

大学院・社会人

高度薬剤師教育研究センター

- 教員による自己プレゼンテーションによる評価とFDの実施(上野他)
- 教員の教育・研究活動向上のための外部評価制度の改善(長友他)

中高大連携講座
入学前準備教育
cyber-NUPALS
学年総括試験
WEB演習
転学部試験
実習事前学習
臨床実務実習
卒業研究
連携教育(IPE)
薬剤師生涯教育

高校 / 新潟薬科大学薬学部 / 大学院・社会人

一般の中学生・高校生は．．．
「薬学部」は「薬剤師」になるための専門学校 !?
「薬学部」で何を学ぶの!?
「薬剤師」は薬を袋に詰めて渡す職業!?
と考えている!!

⇩

中学生・高校生に「薬学」を知ってもらう
「薬学」に興味を持ってもらう
「科学」に興味を持ってもらう

⇩

理科・教養教育の充実・改善支援(尾崎・白崎・太田)
「科学の祭典」支援(北川・浅田)
SSH支援(長友・尾崎・杉原他)
SPPプロジェクト(飯村他)

能動的学習

中高大連携講座
入学前準備教育
cyber-NUPALS
学年総括試験
WEB演習
転学部試験
実習事前学習
臨床実務実習
卒業研究
連携教育(IPE)
薬剤師生涯教育

高校 / 新潟薬科大学薬学部 / 大学院・社会人

理科・教養教育の充実・改善支援(尾崎・白崎・太田)

「科学の祭典」支援(北川・浅田)

中高大連携講座
入学前準備教育
cyber-NUPALS
学年総括試験
WEB演習
転学部試験
実習事前学習
臨床実務実習
卒業研究
連携教育(IPE)
薬剤師生涯教育

高校 / 新潟薬科大学薬学部 / 大学院・社会人

SSH支援(長友・尾崎・杉原他)：H20~
高大連携「医療・薬学」講座
高校生対象・講義10コマ＋実習6コマ
H20：延べ105名参加 [2名単位認定]
H21：延べ96名参加 [薬学部合格者5名(応生2名)]

SPPプロジェクト(飯村他) ：H21~
くすりを「知る」「創る」「使う」を学ぶ講座
中高校生対象・講義10コマ＋実習16コマ
H21：延べ148名参加(中学生12名) [2名単位認定]
[薬学部合格者12名(応生6名)]

⇩

本学で開講している「薬学への招待」の内容

⇩

受講生を科目等履修生として認め
全ての講義に出席した生徒を対象として
単位認定試験に合格した者

⇩

「薬学への招待」の単位を認定!!

中高大連携講座
入学前準備教育
cyber-NUPALS
学年総括試験
WEB演習
転学部試験
実習事前学習
臨床実務実習
卒業研究
連携教育(IPE)
薬剤師生涯教育

高校
新潟薬科大学薬学部
大学院・社会人

中高大連携講座
入学前準備教育
cyber-NUPALS
学年総括試験
WEB演習
転学部試験
実習事前学習
臨床実務実習
卒業研究
連携教育(IPE)
薬剤師生涯教育

高校
新潟薬科大学薬学部
大学院・社会人

中高大連携講座
入学前準備教育
cyber-NUPALS
学年総括試験
WEB演習
転学部試験
実習事前学習
臨床実務実習
卒業研究
連携教育(IPE)
薬剤師生涯教育

高校
新潟薬科大学薬学部
大学院・社会人

中高大連携講座
入学前準備教育
cyber-NUPALS
学年総括試験
WEB演習
転学部試験
実習事前学習
臨床実務実習
卒業研究
連携教育(IPE)
薬剤師生涯教育

高校
新潟薬科大学薬学部
大学院・社会人

学生の気質

予習はほとんどしない（時間がない!?）
板書があればノートに写すが、なければ何もしない
教員の話を聞いているだけで、ノートには書き留めない

⇩

基礎学力・筆記能力の低下
ディクテーション能力の低下
能動的学習に不慣れ

⇩

学力向上に向けた施策（予習・復習支援）

⇩

ICT 教育の導入

中高大連携講座
入学前準備教育
cyber-NUPALS
学年総括試験
WEB演習
転学部試験
実習事前学習
臨床実務実習
卒業研究
連携教育(IPE)
薬剤師生涯教育

高校
新潟薬科大学薬学部
大学院・社会人

ICT 教育の導入

一般的には VCR の利用

merit
授業を何度も受講できる
demerit
学生が授業に出席しない
著作権に抵触するものもある

⇩

授業に出席しなければならない仕組み
著作権問題をクリアにする仕組み
FD にも利用できる仕組み

cyber-NUPALS
授業資料・
音声ファイルの公開

background
教員はマイクを使って講義
プリントを配布
PowerPointを多用

中高大連携講座
入学前準備教育
cyber-NUPALS
学年総括試験
WEB演習
転学部試験
実習事前学習
臨床実務実習
卒業研究
連携教育(IPE)
薬剤師生涯教育

高校
新潟薬科大学薬学部
大学院・社会人

中高大連携講座
入学前準備教育
cyber-NUPALS
学年総括試験
WEB演習
転学部試験
実習事前学習
臨床実務実習
卒業研究
連携教育(IPE)
薬剤師生涯教育

高校
新潟薬科大学薬学部
大学院・社会人

薬学部のシラバス（授業計画）

中高大連携講座
入学前準備教育
cyber-NUPALS
学年総括試験
WEB演習
転学部試験
実習事前学習
臨床実務実習
卒業研究
連携教育(IPE)
薬剤師生涯教育

高校
新潟薬科大学薬学部
大学院・社会人

実際の授業内容

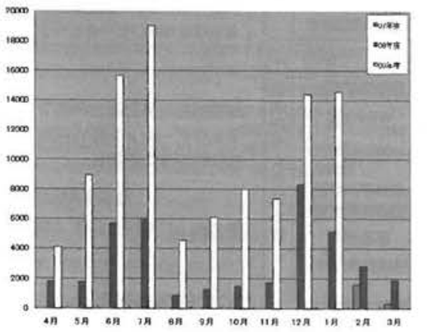
特徴
- シラバスとタイアップ
- 授業資料・音声ファイルの掲載
- PodCasting に対応
- 教員自身による音声の編集
- 教員同士による相互聴講
- 授業内容の精査

（教員自身による音声の編集／教員同士による相互聴講／授業内容の精査） "FD"

中高大連携講座
入学前準備教育
cyber-NUPALS
学年総括試験
WEB演習
転学部試験
実習事前学習
臨床実務実習
卒業研究
連携教育(IPE)
薬剤師生涯教育

高校
新潟薬科大学薬学部
大学院・社会人

cyber-NUPALS アクセス件数の推移



中高大連携講座
入学前準備教育
cyber-NUPALS
学年総括試験
WEB演習
転学部試験
実習事前学習
臨床実務実習
卒業研究
連携教育(IPE)
薬剤師生涯教育

高校
新潟薬科大学薬学部
大学院・社会人

利用者の声

学生の声

☆音楽プレーヤーや携帯でも聞けるのが良い
☆電車・バス・自転車・車などの通学時間にも勉強できる
☆勉強しているかどうか、周りの学生がわかりにくい点が良い
（ガリ勉と思われたくない）
☆説明を何度も聞き返すことができて、よく理解できた
☆試験勉強や授業の予習の際にも役立つ

★VCRも見られるようにして欲しい（他学部・他学科講義の聴講）
★ファイルのアップロードをコマめにして欲しい

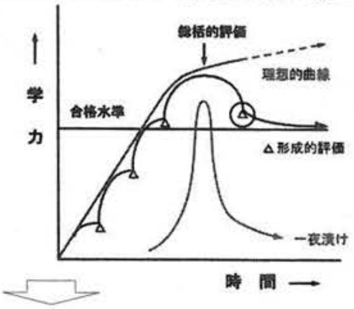
教員の声

※学生による授業評価が高い教員の講義を聞けて参考になった
※ファイルの編集が大変
※能動的学習を促している（!?）

中高大連携講座
入学前準備教育
cyber-NUPALS
学年総括試験
WEB演習
転学部試験
実習事前学習
臨床実務実習
卒業研究
連携教育(IPE)
薬剤師生涯教育

高校
新潟薬科大学薬学部
大学院・社会人

試験が終わると同時に、修学内容を忘れる学生が多い!



総合的かつ持続的な記憶・知識が必要!!

フォローアップテストの導入!!

中高大連携講座
入学前準備教育
cyber-NUPALS
学年総括試験
WEB演習
転学部試験
実習事前学習
臨床実務実習
卒業研究
連携教育(IPE)
薬剤師生涯教育

高校
新潟薬科大学薬学部
大学院・社会人

学年総括試験

4月当初 オリエンテーション期間中
※春休み中に勉強する学生をよく見かけるようになった
※質問に来る学生が増加

前年度の修学内容に関する客観試験（マークシート形式）
※結果が出るまで短時間
※自己学習支援システム（WEB演習システム）への流用が可能

各講義科目につき5題を出題（合計200題前後）
※2時間程度の問題
※CBTや薬剤師国家試験の練習にもつながる

受験者には昼食
成績上位者には学習奨励金（図書カード）

★成績上位者でさえも得点率は低い．．．
★フィードバック方法を考える必要あり
（学年順位・得点ばかり気にする学生が多く、
「何がわからないのか」気にする学生は少ない）

中高大連携講座
入学前準備教育
cyber-NUPALS
学年総括試験
WEB演習
転学部試験
実習事前学習
臨床実務実習
卒業研究
連携教育(IPE)
薬剤師生涯教育

高校 / 新潟薬科大学薬学部 / 大学院・社会人

学生が自主的に演習するモード

教員が設定した模擬試験、授業の演習に使うモード

中高大連携講座
入学前準備教育
cyber-NUPALS
学年総括試験
WEB演習
転学部試験
実習事前学習
臨床実務実習
卒業研究
連携教育(IPE)
薬剤師生涯教育

高校 / 新潟薬科大学薬学部 / 大学院・社会人

演習ごとの成績の分析

問題演習モード Practice mode

能動的学習に
ポートフォリオ評価の導入!!

Bless-U 共同開発

中高大連携講座
入学前準備教育
cyber-NUPALS
学年総括試験
WEB演習
転学部試験
実習事前学習
臨床実務実習
卒業研究
連携教育(IPE)
薬剤師生涯教育

高校 / 新潟薬科大学薬学部 / 大学院・社会人

成績だけで大学・学部を選ぶ学生が増えた!?

修学年限の延長・・・経済的・精神的負担の増大

⇩

低中学年での進路変更希望者の増加

薬学への進学を諦めきれない学生の存在

学生に進路変更のチャンスを与える施策が必要!

☆3月中～下旬に転学部試験を導入(H21)

在学中に1度だけ受験資格

1～3年生への転学部が可能

薬学部->応用生命科学部・・・0名

応用生命科学部->薬学部・・・2名

(ともに1年生終了時に1年生へ)

中高大連携講座
入学前準備教育
cyber-NUPALS
学年総括試験
WEB演習
転学部試験
実習事前学習
臨床実務実習
卒業研究
連携教育(IPE)
薬剤師生涯教育

高校 / 新潟薬科大学薬学部 / 大学院・社会人

卒業研究は
問題発見・解決能力を醸成する必要不可欠な教育!

本学では、創立以来、
卒業研究発表会が開催されていない...
卒業論文・修士論文は作成されていない...

研究発表会を開催する必要あり!!

多ヶ年計画で学生・教員の意識を変化させる必要あり!!

H18：3年生の研究室配属を12月から9月に早める

H19：4年生希望者(51名)を対象として
ポスター発表形式による卒論発表会の開催

H20： 4年生全員を対象とした卒論発表会の開催

中高大連携講座
入学前準備教育
cyber-NUPALS
学年総括試験
WEB演習
転学部試験
実習事前学習
臨床実務実習
卒業研究
連携教育(IPE)
薬剤師生涯教育

高校 / 新潟薬科大学薬学部 / 大学院・社会人

優秀ポスター発表賞(25名)
の表彰

H20.9.19(Fri)

中高大連携講座
入学前準備教育
cyber-NUPALS
学年総括試験
WEB演習
転学部試験
実習事前学習
臨床実務実習
卒業研究
連携教育(IPE)
薬剤師生涯教育

高校 / 新潟薬科大学薬学部 / 大学院・社会人

6年制教育では．．．

卒業研究Ⅰ・・・文献検索・総説作成
卒業研究Ⅱ・・・フィールド/ベンチワーク

論文作成時に必要な最低限のマナーを教育

⇨ 著作権セミナーの開催

作成した論文を知的財産として発信

⇨ 新潟薬科大学リポジトリーの構築

指導教員の意見を反映し、
学生と大学間で著作物(卒論)の公開に向けた
使用許諾書を取り交わす

H21：最初の卒業論文(約160編)が作成
公開に向けて、リポジトリーを構築中

中高大連携講座
入学前準備教育
cyber-NUPALS
学年総括試験
WEB演習
転学部試験
実習事前学習
臨床実務実習
卒業研究
連携教育(IPE)
薬剤師生涯教育

高校 ／ 新潟薬科大学薬学部 ／ 大学院・社会人

教育著作権セミナー：H19&20(教員向け)
尾崎史郎(メディア教育開発センター)

著作権セミナー：H21(学生向け)

中高大連携講座
入学前準備教育
cyber-NUPALS
学年総括試験
WEB演習
転学部試験
実習事前学習
臨床実務実習
卒業研究
連携教育(IPE)
薬剤師生涯教育

高校 ／ 新潟薬科大学薬学部 ／ 大学院・社会人

地域医療はチーム医療!!
医療従事者間のチームワークが患者のQOLを上げる!!
良好なチームワークを形成するためには
　　柵のない学生時代から
　　　　チームワーク形成の練習をする必要あり!!

⇩

連携教育(InterProfessional Education)セミナー

医療保健福祉関連学部の学生
医師・歯科医師・薬剤師・看護師・理学療法士・
作業療法士・歯科技工士・管理栄養士・社会福祉士
などの卵

①患者情報(カルテ・所見等)から症例の検討
②患者・介護者・医療従事者との面談・情報収集
③QOL向上のための施策を考案・発表
④全体討論とディレクターからのコメント

中高大連携講座
入学前準備教育
cyber-NUPALS
学年総括試験
WEB演習
転学部試験
実習事前学習
臨床実務実習
卒業研究
連携教育(IPE)
薬剤師生涯教育

高校 ／ 新潟薬科大学薬学部 ／ 大学院・社会人

連携教育(InterProfessional Education)セミナー

今後は...
Virtual Patients
の導入が必要!!

中高大連携講座
入学前準備教育
cyber-NUPALS
学年総括試験
WEB演習
転学部試験
実習事前学習
臨床実務実習
卒業研究
連携教育(IPE)
薬剤師生涯教育
社会連携講座

高校 ／ 新潟薬科大学薬学部 ／ 大学院・社会人

初等中等教育機関との教育連携
⇨ 適性・資質のある学生の獲得

高等教育機関との教育連携
⇨ 魅力のある教育プログラムの考案

社会との教育連携 ⇨ 大学の知名度アップ

⇩

教育連携推進センター の設立

広報担当部署との連携により広報活動の充実!!
大学のブランド化!!
薬剤師教育のリーダーを目指して...
地域医療に携わる薬剤師の育成を目指して...

中高大連携講座
入学前準備教育
cyber-NUPALS
学年総括試験
WEB演習
転学部試験
実習事前学習
臨床実務実習
卒業研究
連携教育(IPE)
薬剤師生涯教育

高校 ／ 新潟薬科大学薬学部 ／ 大学院・社会人

大学は高等教育機関　　　教育を売る機関!

教育の企画・取組・方向性はイケてる!
コンテンツの充実には、一層の協力・努力が必要だが...

薬剤師教育のリーダーになりつつある!

自信をもって、社会にアピールしましょう!

星・慶應・東京理科・明治薬科・東京薬科
にも負けない!

カリキュラムの見直しと、
地域医療貢献者の育成を目指して!

09平成21年度 外部評価

本学薬学部の現状と将来への展望
学生委員会報告

新潟薬科大学
薬学部　学生委員会
平成 22 年 2 月 23 日(火)

学生委員会の年間活動

学生委員会では、学生のかかわる各種大学行事に関することなど、学生生活全般に関することについて管轄している。また、学生の福利厚生を中心に、キャンパス内施設の充実及び通学路の安全確保を目的として、平成20年度においては、下記の整備を実施した。

また、応用生命科学部と共通の案件については、相互連絡をとり学生部に懸案して運営している。

1．大学行事

4月：入学式、オリエンテーション、
　　新入生歓迎会、卒業アルバム作成指導
5月：保護者面談会、学友会・サークル代表者会議
6月：五頭薬用植物園見学、球技大会
7月：４年次留年生卒業記念パーティー
10月：新薬祭、保護者面談会
3月：スキー＆スノーボードスクール
　　卒業式、卒業記念パーティー

2．学生の福利厚生、キャンパス内施設及び通学路等の整備

（1）学生等の意見を聴取するための意見箱「ひとことBOX」の設置
（2）通学路への安全施設設置及び区画線設置
　① 道路減速表示
　② 優先道路区画線表示
　③ 自転車ストップマーク及び自動発行道路鋲
（3）学生駐車場までのスロープへの融雪装置設置
（4）転倒防止対策のため、屋外階段に手摺の設置
（5）駐輪場の滑倒防止工事の実施
（6）構内出入り口におけるマット設置
（7）学生事故等への対応
（8）「学友会規定」作定アドバイス
（9）日本学生支援機構「障害学生支援についての教職員研修プログラム開発事業検討委員会への障害学生修学支援事例」の聴取対応
（10）意見箱「ひとことBOX」回答
（11）学生談話室の整備
（12）その他：購買、食堂、ロッカーの必要性など関係部署との打合せ

3．学生委員会責任事項

① 学生名簿
② 卒業生名簿
③ アドバイザー名簿の維持管理
④ 駐車場
⑤ 奨学金の候補者推薦
⑥ 卒業記念アルバム・卒業記念祝賀会
⑦ 後援会・薬樹会・学友会・学生部運営委員会
⑧ 体育施設・解放用具・駐車輪場管理運営
⑨ 地域住民との会合
⑩ 私立薬科大学学生部長会・全国学生厚生補導研究会・全国学生相談研究会等学生福利厚生に関する会合・研修会出席
⑪ 新潟薬科大学自己点検評価報告書の作成
⑫ 学生便覧（学生生活の項担当）作成

【基準　8-1-2】
教員と学生とのコミュニケーションを十分に図るための学習相談・助言体制が整備されていること。

【観点　8-1-2-1】
担任・チューター制度やオフィスアワーなどが整備され、有効に活用されていること。

【基準8－1－8】
学生の意見を教育や学生生活に反映するための体制が整備されていること。

【観点　8－1－8－1】
在学生及び卒業生に対して、学習環境の整備等に関する意見を聴く機会を設け、その意見を踏まえた改善に努めていること。

【観点　8－1－8－2】
学習及び学生生活に関連する各種委員会においては、学生からの直接的な意見を聞く機会を持つことが望ましい。

1．学生相談について

～学生が頼るところはたくさんあります～

ア．アドバイザーの先生
イ．学生課の方々（事務室）
ウ．学生委員会の先生方
エ．保健室（保健師）
オ．カウンセリング室（カウンセラー）
カ．ひとことＢＯＸ（各回答者）
キ．ハラスメント相談員・調査員の先生
ク．友人、先輩（卒業生）、後輩

アドバイザー表

09P001	[illegible]	[illegible]	男	A1	小宮山 [illegible]
09P002	阿部 [illegible]	アベ [illegible]	男	A1	小宮山 [illegible]
09P003	阿部 [illegible]	アベ [illegible]	女	A1	小宮山 [illegible]
09P004	[illegible]	[illegible]	男	A1	小宮山 [illegible]
09P005	五十嵐 [illegible]	[illegible]	男	A1	小宮山 [illegible]
09P006	五十嵐 [illegible]	[illegible]	男	A1	小宮山 [illegible]
09P007	石川 [illegible]	[illegible]	女	A1	小宮山 [illegible]
09P008	石川 [illegible]	[illegible]	男	A1	小宮山 [illegible]
09P009	石田 みなみ	[illegible]	女	A1	[illegible]
09P010	[illegible]	[illegible]	女	A1	[illegible]
09P011	伊藤 [illegible]	[illegible]	女	A1	[illegible]
09P012	[illegible]	[illegible]	男	A1	[illegible]

4.アドバイザー活動

～アドバイザー活動についての学生さんへのアンケート～

アドバイザー活動は、学生さんと担当教員との良好なコミュニケーションや相談、および友人や学年の異なる学生間の交流や情報交換の機会として重要です。
より有意義なアドバイザー活動を実現するため、学生諸君のご希望・ご意見をお聞きしたいとおもいますので、アンケートにご協力ください。

1. 学年：　1　　2　　3　　4
2. 性別：　1.男　　2.女

3.　あなたのアドバイザー教員の印象はどれですか？
　① 誠実で信頼できそう　② 話しやすそう　③ 普通　④ 話しにくそう
　⑤ 秘密をにぎられているようでいやだ　⑥ 話したくない
　⑦ その他（マークシートの空欄に記入してください。）

4. 入学後、アドバイザー教員から1回でも実施された活動はどれですか？（複数回答可）
　① アドバイザーコンパ　② 花見やハイキング　③ 成績配布時の勉学指導
　④ 日常の勉学指導　⑤ なかった　⑥ その他(マークシートの空欄に記入してください)

5. 入学後、アドバイザー教員に1回でも相談した事柄は何ですか？（複数回答可）
　① 生活や経済的な相談　② 健康やカウンセリングの相談　③ 進路相談
　④ 学習方法　⑤ 特になし　⑥ その他(マークシートの空欄に記入してください)

6. アドバイザー教員に希望する活動項目はどれですか？（複数回答可）
　① アドバイザーコンパ　② 花見やハイキング　③ 成績配布時の勉学指導
　④ 日常の勉学指導　⑤ 特になし　⑥ その他(マークシートの空欄に記入してください)

7. アドバイザー教員に希望する相談項目はどれですか？（複数回答可）
　① 生活や経済的な相談　② 健康やカウンセリングの相談　③ 進路相談
　④ 学習方法　⑤ 特になし　⑥ その他(マークシートの空欄に記入してください)

8. アドバイザーコンパについてお聞きします。
　① アドバイザーコンパに参加したことがある
　② アドバイザーコンパを要望したが、実施されなかった
　③ アドバイザーコンパのお知らせを受けていない
　④ アドバイザーコンパの知らせがあったが、参加しなかった
　⑤ その他（マークシートの空欄に記入してください）

9. 上の8の質問で、「4. アドバイザーコンパの知らせがあったが、参加しなかった」を選んだ方にお聞きします。
　● 参加しなかった理由は？：
　① 日程の都合が悪かった　② 参加したくなかった　③ 特に理由はない
　④ その他（マークシートの空欄に記入してください）

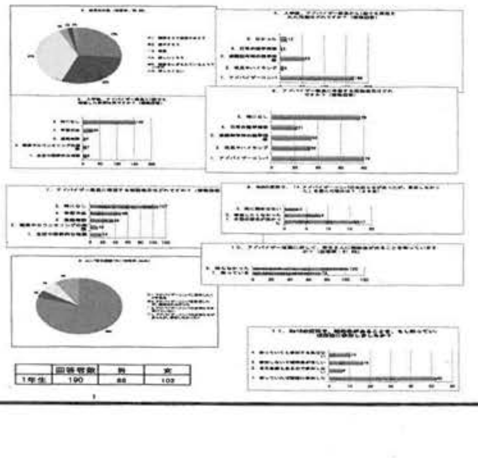
10. アドバイザー活動に対して、学生さんに補助金が出ることを知っていますか。
　① 知っている　② 知らなかった

11. 上の10の質問で、「2. 知らなかった」を選んだ方にお聞きします。
　● 補助金があることを、もし知っていれば活動に参加しましたか？
　① 知っていれば活動に参加した　② 自己負担もあるので参加しない
　③ 参加しないで補助金がほしい　④ 知っていても参加する気はない
　⑤ その他（マークシートの空欄に記入してください）

12. あなたは、アドバイザー担当教員に、どのようなことを希望しますか？
　あれば、マークシートの空欄に記入してください。（回答欄が狭い場合には、裏面を利用してください）

☆貴重なご意見・ご協力有り難うございました。

アドバイザー活動アンケート結果



	回答者数	男	女
1年生	190	88	102

アドバイザー活動アンケート結果　概略

1. 学年
2. 男女

	男	女	合計	回答率
1年生	88	102	190	98.90 %
2年生	87	87	175	97.10 %
3年生	103	106	212	99.50 %
4年生	45	69	114	98.20 %

3. 教員の印象

１年生では、アドバイザーに対して好印象を持つ割合が高いが、２年生以上ではマイナスイメージを持つ割合が２倍以上に増加している。

4. アドバイザー活動の実施状況

１年生から４年生まで、コンパの割合が高い。４年生では成績配布時の勉学指導と日常の勉学指導の機会が高い。しかし、各学年とも、少数だが、なにも活動していない場合がある。一部の担当教員は、アドバーザー活動に対する意識が低いようだ。

5. アドバイザーに相談した内容

相談が特にない学生が多数。学生の大部分が正常で、深刻な相談項目がないことを示唆する。しかし、高学年ほど、学習方法や進路相談が増加している。

6. 学生が希望する活動

コンパの希望が多いが、宴会よりも野外で活動を希望する学生もいる。

7. 学生が希望する相談内容

学習方法や進路相談を希望する学生が多い。生活や経済的な相談を希望する学生がいるので、学費に対する重圧を感じているらしい。

8. コンパ参加経験

1年生ではコンパ参加割合が低いが、学年の進行に伴いほとんどの学生が参加を経験している。少数ながら参加を希望しない学生がいる。

9. コンパ不参加理由

各学年とも 10 % 程度の学生が、日程の都合が悪かった。アルバイトなどの予定が入っていると思われる。

10. アドバイザー活動の補助金認識

補助金が出ることを知らない学生が多数いた。オリエンテーションで説明が必要である。

11. 補助金の意義

自己負担はいやだ、参加しないで補助金がほしいなどの学生がいる。

活動の活性化のために、補助金があることを説明することが必要である。

12. アドバイザー活動についての自由意見

1年生は、コンパの回数を増やしてほしい意見が多い。

忙しいことを理由にして実施しない教員がいる。

不在のときが多く、相談できない。

宴会を強要する場合があるは、ハラスメントに相当するので、注意。

＊このアンケート調査は、２００９年１０月に実施しました。（薬学部学生委員会）

５．学生意見箱『ひとことＢＯＸ』

より良い大学にするために、学生が日頃感じている大学へのご意見・ご要望を広く聴取し、学生生活の改善に活かしていくため、昨年度から学生ホール棟１階に意見箱『ひとことＢＯＸ』を設置し運用しています。

寄せられた意見等については、回答を記入して掲示しています。回収～掲示まで:1ヶ月以内、掲示期間:2週間(原則)

『ひとことＢＯＸ』からの意見・要望事項

総計 323 通

- **施設関係（120 通）：**
  教室、自習室、駐車場、駐輪場、体育館　等
- **カフェテリア関係（55 通）：**
  メニュー、自販機、営業時間、料金、夕食
- **授業関係（65 通）：**
  座席指定、テスト期間、試験実施方法、
  教材購入の意義
- **その他（83 通）：**　学費、学友会活動

６．保護者面談会アンケートについて

薬学部保護者面談会アンケート用紙

本日は、お忙しい中、保護者面会にご参加いただきありがとうございます。
今後の運営に係る貴重なご意見として活用させていただきますので、アンケートへのご記入にご協力をお願いいたします。

いずれかに○印をお付けください。

1. 開催期日について:　適　不適（　　頃がよい）
その他:

2. 開催時間について:
全体会　適　不適（　　時頃がよい）
その他:
教員との個人面談　適　不適（　　時頃がよい）
その他:

3. 内容について:
全体会　適　不適　どちらともいえない
その他:
教員との個人面談　適　不適　どちらともいえない
その他:

4. その他:（全体会や個人面談で話せなかった大学や各委員会への要望・希望・提案等
何でもご記入ください）

ご協力ありがとうございました。受付(正面棟(A棟)1階)または全体会場前(J201講義室)の回収箱にご投函ください。
在学生の皆さんの日常生活の一層の向上に役立つよう努力してまいります。

平成21年10月24日

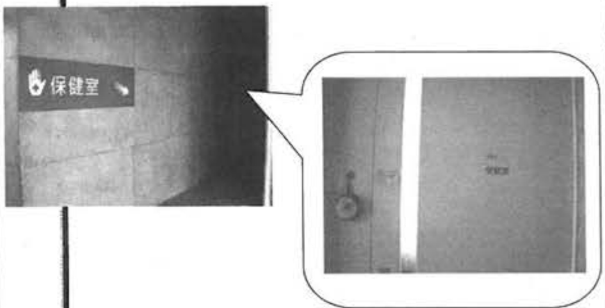
新潟薬科大学 薬学部

保護者面談会担当: 学生委員会、事務部学生課

保護者面談会アンケート結果

要望項目	要望
保護者会について	保護者会の年複数回の開催、学年毎に分けての様々なテーマでの実施
	個人面談の日程の連絡
	保護者面談会の他県開催
	全体会の開催時間
	学生との直接対話
カフェテリアについて	安い夕食の提供
	新館カフェテリアオープンでの味の改善状況について
環境整備について	学生駐車場不足、その対策について
	学生駐車場の設備・警備の現状について
	薬学部専用図書館の整備
奨学金について	成績優秀者への奨学金の増額
授業関係について	補習の実施
	集中講義の目的
	選択科目の履修者決定の根拠について
	出欠状況の通知
CBT,OSCEについて	詳しいCBT、OSCE、各資格の資料配布
	CBT、OSCEの予想合格率
	CBT・OSCEの全員突破
	CBTに対する対応
国家試験について	カリキュラム充実による国家試験合格率アップ
	国家試験の合格率について
就職について	就職先を選ぶ際のアドバイス
学納金について	学納金について
その他	経営状態の報告
	全体会の資料の文字について

保健室



カウンセリングを受けたい！

水曜日に臨床心理士の先生がいらっしゃいます。

何か悩みがあったら利用してみて下さい。

保健室およびカウンセリング利用状況

（健康に関すること）

年度	保健室利用件数（件）	医療機関受診件数（件）	カウンセリング利用件数（件）
平成 17 年度	1136	111	24
平成 18 年度	1173	104	25
平成 19 年度	1163	71	15
平成 20 年度	934	50	25

指定医療機関
新津医療センター病院
秋葉区古田610

【基準８－１－４】
学習及び学生生活において、人権に配慮する体制の整備について

STOP!

HARASSMENT

ハラスメント対策リーフレット

【基準8−1−5】
学習及び学生生活において、個人情報に配慮する体制が整備されていること

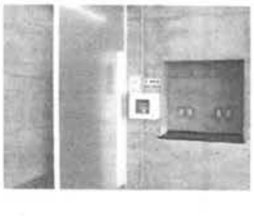
「学生等の個人情報の保護に関する規程」
（平成17年4月制定）

「個人情報の保護に関する法律」
（平成15年法律第57号）

8．学内安全の取組・整備について

学生の授業での利用や非常時利用を目的としてキャンパス内に車椅子を設置しています。

キャンパス内の2ヵ所にAED(自動体外式除細動器)が設置されています。



安全・安心配慮について

実習中の事故により保健室を利用した学生数	
年度	学生数(名)
平成 18 年度	13
平成 19 年度	16
平成 20 年度	23
平成 21 年度	6 (8月まで)

原因:
薬傷、ガラスによる切り傷、脳貧血、針刺し(未使用のもの)、眼に薬品が入った 等

学生保険金支払い状況

平成１８年度	正課・学校行事	２ 名
	大学施設内にいる間	１ 名
平成１９年度	課外活動	１ 名
平成２０年度		０ 名
平成２１年度	大学施設内にいる間	１ 名

＊ 各年度軽傷で免責期間であったために、保険受給対象にならないケースを除く。

【基準８－１-3】
学生が在学期間中に薬学の課程の履修に専念できるよう、学生の経済的支援及び修学や学生生活に関する相談・助言、支援体制の整備に努めていること。

経済的支援について

日本学生支援機構奨学金貸与者数(平成18年度～21年度)　(人数)

年 度	第一種		第二種		合計
	薬学部	応用生命科学部	薬学部	応用生命科学部	
2006(平成18)	76	40	167	115	398
2007(平成19)	85	42	246	129	502
2008(平成20)	84	52	261	159	556
2009(平成21)	86	59	311	106	562

新潟薬科大学奨学金(給付)

奨学金名	奨学金額	人数(20年度)
新潟薬科大学奨学金	100,000 円 (年額)	各学年 8 名 計 32 名(4学年)

７．新型インフルエンザの対応について

（１）学生感染者数

（２）対策

■学生への対応
※インフルエンザA型の診断。新型インフルエンザと同様の対応。
① ４日～７日の自宅での療養
②『感染症登校許可証明書』の提出

■新型（A型）インフルエンザ対策
① 新型インフルエンザ対策本部の設置
② 掲示板、校舎扉等での注意喚起掲示
③ ホームページでの注意喚起
④ 授業時間を利用した注意喚起
⑤ アルコール消毒液の設置
⑥ マスクの常備、配布
⑦ 大学行事（オープンキャンパス等）等での教職員、学生の検温の徹底
⑧ 教職員への周知徹底
⑨ 感染学生について科目担当教員等への報告

新型インフルエンザ関連書類様式

インフルエンザ感染者数（2009年4月～2010年2月現在）

学年	感染者数（名）
薬学部１年	34
薬学部２年	16
薬学部３年	24
薬学部４年	11
（薬学部計）	(85)
応用生命科学部1年	11
応用生命科学部2年	18
応用生命科学部3年	7
応用生命科学部4年	7
（応用生命科学部計）	(43)
薬学研究科	2
応用生命科学研究科	2
（大学院計）	(4)
全学合計	132

9．まとめ

- 大学は他にもどんなことができるでしょうか？

私たちは学生さんに
どんなお手伝いができるでしょうか？

どうぞ皆さんから積極的に提案をしてください。

★ アドバイザーの先生
★ 学生課（事務室）
★ 学生委員会の先生
★ ひとことＢＯＸ
★ 相談員の先生　　など など

学生委員：高橋 努
白崎 仁
本澤 忍
福原 正博
飯村菜穂子
浅田 真一
中川 沙織
○尾崎 昌宣

学生委員会からの報告を終わります。

臨床薬学教育～講義・実習～

1年次 薬学への招待、倫理とコミュニケーション、医療施設見学

2年次 疾患と薬学、症候と疾患、医療人としての心構え

3年次 社会と薬学の臨床、症候と臨床検査、疾患と薬物治療
処方せんと調剤Ⅰ・Ⅱ、疾病の成り立ち、薬品情報と患者
薬物動態の解析、患者との信頼関係、薬物治療学実習
調剤学実習、臨床実習

4年次 患者個々の薬物治療、コメディカルの役割、漢方医学
臨床実務実習事前学習 CBT・OSCE

5年次 医療倫理・実習事前演習
臨床実務実習Ⅰ，Ⅱ，Ⅲ

6年次 アドバンスト臨床演習（ケーススタディー）

臨床実務教育委員会

・［学部・大学院臨床系講義・実習］
・［大学院臨床研修］

・［臨床実務実習］ ・［実務実習事前学習］
・［薬学生関東地区実務実習調整機構］
調整機構大学委員、連絡委員

・［OSCE］ 共用試験センターOSCE実施大学委員
・［SP（模擬患者）養成］

・［その他］
実習拠点病院化の推進
認定実務実習指導薬剤師養成ワークショップ開催
臨床教員任用検討
模擬薬局、模擬病室の整備と医薬品の充実

実務実習事前学習

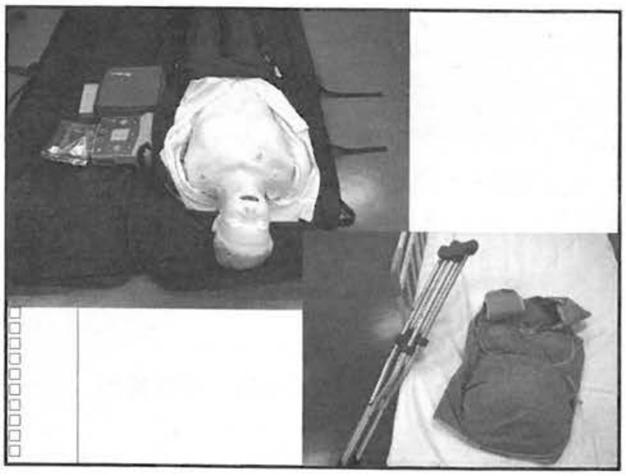
【実務実習事前学習カリキュラム内容および実施時期】

- **実施期間: 平成21年5月25日～7月16日（実質39日間）**
- **4単位として設定**
- **モデル・コアカリキュラムの77 SBOs に、本学独自の 50 SBOsを加えて 合計 127 SBOs として実施**
- **講義 43コマ（26%）、SGD 25コマ（15%）、実習 96コマ（59%）**
- **1日: 9時～18時、1コマ90分の5コマ実施**

本学独自の特徴ある事前学習のSBOsの例

1）専門薬剤師（がん・感染防御・NST）の役割と実際について説明できる
2）心肺蘇生（AED、心臓マッサージ、人工呼吸など）をシミュレートできる（技能）
3）インスリン自己注射をシミュレートできる（技能）
4）自己血糖値を測定できる（技能）
5）吸入補助用具の使い方をシミュレートできる（技能）
6）TDMデータを解析し、薬物治療の適正化について討議する（技能・態度）
7）患者背景を考えた投与設計ができる（技能・態度）
8）持参薬を鑑別することができる（技能）

9）医薬品添付文書、インタビューフォームの内容について説明できる（知識）
10）緊急安全性情報について説明できる（知識）
11）代表的な疾患（感染症、悪性腫瘍、内分泌代謝疾患、循環器疾患、呼吸器疾患、消化器疾患）とその治療法について説明できる（知識）
12）身体不自由を体験する（高齢者、妊婦、視覚障害など）（技能）
13）医師への疑義照会をシミュレートできる（技能）
14）薬剤師がセルフメディケーションに関わる意義について討議する（態度）
15）治験における薬剤師の役割について説明できる（知識）



【事前学習の担当教員、学外薬剤師との連携】

●事前学習には、臨床系の実務家教員を中心に医療系教員の他、基礎系の教員も担当し、薬学部全教員が参加して実施

●新潟県内の病院、薬局に勤務する薬剤師を臨床教員として招聘し、事前学習の講義、実習の指導に参加

薬剤師112名が臨床教員として事前学習指導に参加

●学外から参加の薬剤師はそのほとんどが本学のOSCEトライアルの評価者としてOSCE評価者養成講習に参加しており、実務実習受け入れ施設の指導薬剤師である

● 学生: 臨床講師から臨床現場の臨場感溢れる指導を受けることができた、インスリン自己注射、自己血糖値測定、身体不自由体験など興味深く学習できた

● 薬剤師: 事前学習の内容が分かり、実務実習受け入れに非常に参考になった

臨床実務実習

【実習施設の確保】

●基本的に実習施設の確保は「病院・薬局実務実習関東地区調整機構」を通じて行なう

●実習施設の確保が困難な学生が生じた場合には、大学独自で新潟県内の実習施設を確保する

●平成22年度の実務実習では、調整機構で確保が困難と予測された学生のために、新潟県内11病院に独自枠を確保

●薬局実習先は新潟県内外ともにすべて調整機構を通じて確保

【実習指導体制】

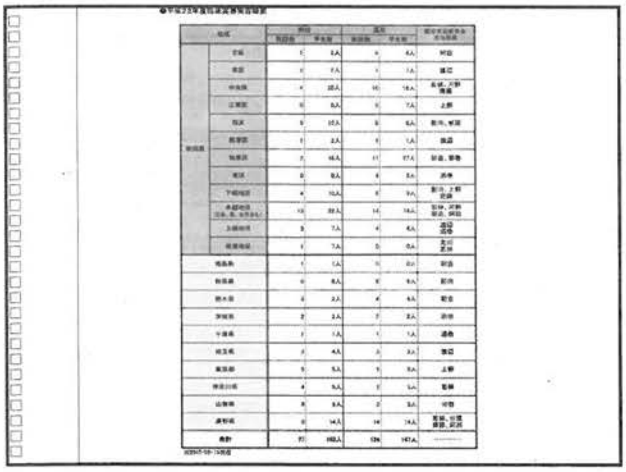
●臨床実務教育委員会委員に加えて医療系、臨床系、基礎系すべての教員が実習指導に参画し、新潟県外の病院・薬局実習先は臨床実務教育委員会委員が担当するが、新潟県内の病院・薬局は臨床実務教育委員会委員と医療系、臨床系、基礎系の教員が組んで各実習先を専任で担当する。

【実習施設との連携体制】

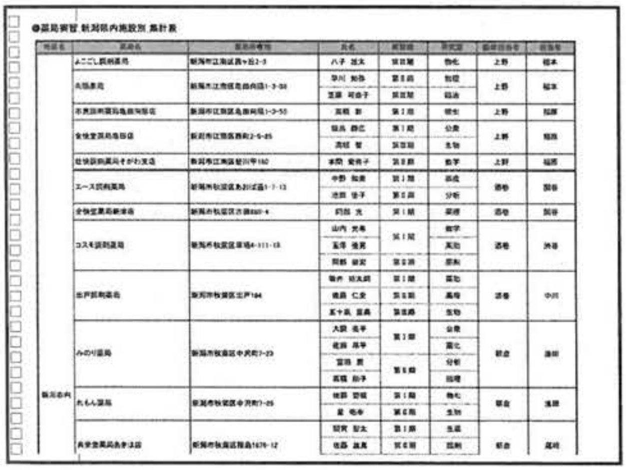
●大学と実習施設との連絡は、本学独自開発の「実務実習連携支援システム」を用い、担当教員・指導薬剤師・学生間の連携をとり、毎日担当教員が実習内容の確認、問題点などに迅速に対応

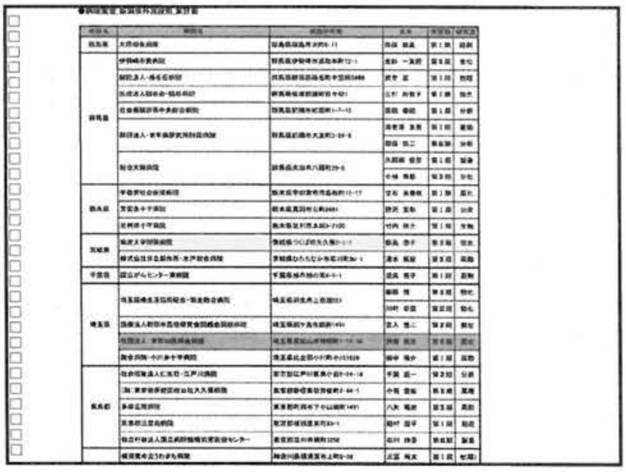
●実習事前説明会、実習後の懇談会を設け、実習内容、指導方法、評価方法、今後の問題点等について協議を行なう

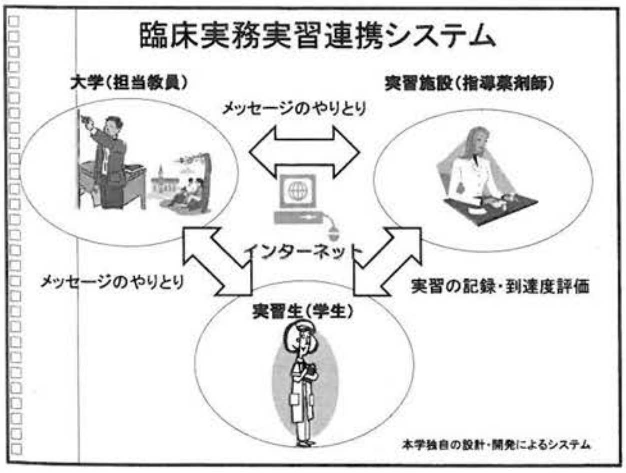
●実習中に緊急の連絡・打ち合わせ等の必要が生じた場合には、その都度、担当教員が実習施設を訪問して迅速に対応する



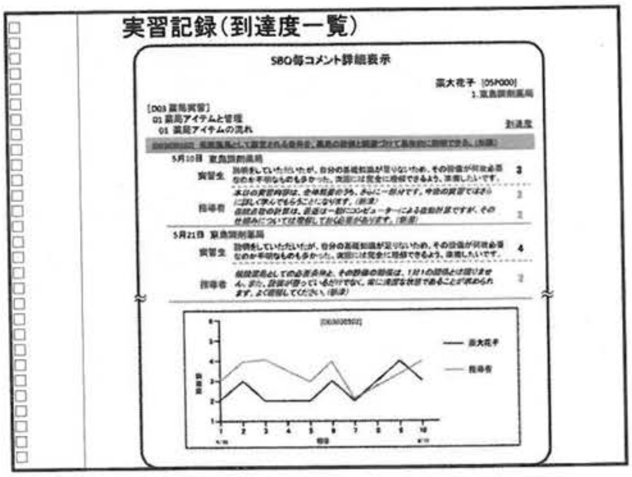
●病院実習_新潟県内施設別_集計表

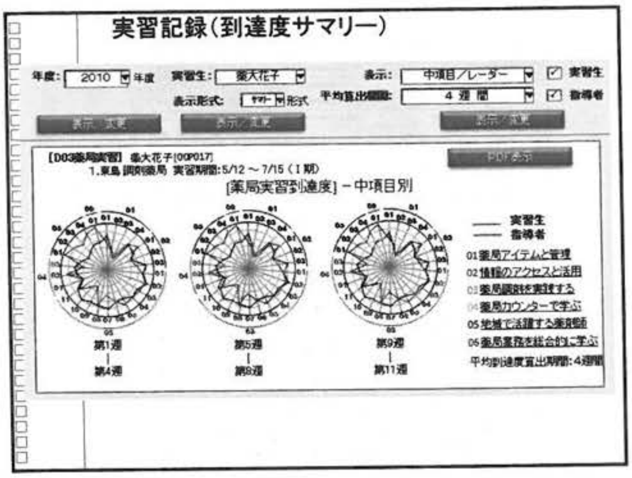

●薬局実習_新潟県内施設別_集計表

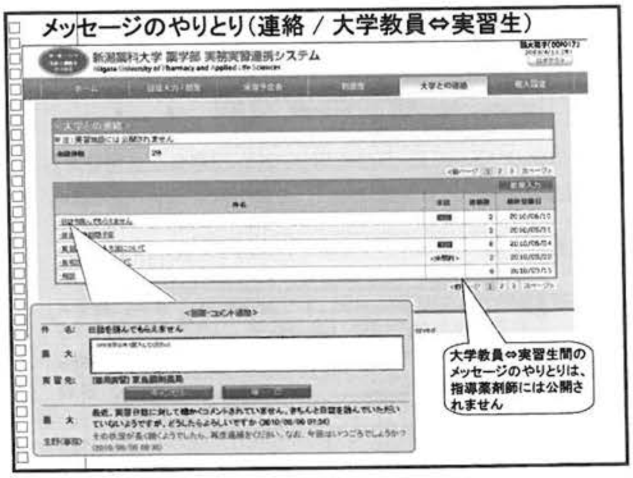



臨床実務実習連携システム
大学(担当教員)
実習施設(指導薬剤師)
メッセージのやりとり
インターネット
メッセージのやりとり
実習の記録・到達度評価
実習生(学生)
本学独自の設計・開発によるシステム

実習記録(日誌・到達度)
新潟薬科大学 薬学部 実務実習連携システム







臨床実務実習開始までの予定

「実習先」

新潟県内実習事前説明会が終了

新潟県外の関東地区各県で事前説明会を開催し、個別に訪問

契約書(実習費)、守秘義務誓約書、学生の履歴書

11週間の実習スケジュールの確認

「学 生」

医療倫理、実習直前演習(マナーなど)

今後の課題

1 実務実習先の安定確保（県内外）
2 事前学習担当学外指導者の継続的な確保（OSCE学外評価者）

⇩

・「臨床講師」の称号（資格）の授与（任命）
・新潟県薬剤師会、病院薬剤師会との緊密な連携維持 ⟹ 認定実務実習指導薬剤師養成ワークショップの開催

3 模擬患者の安定確保（養成講習会の継続）

認定実務実習指導薬剤師養成ワークショップ(WS)

■ 平成18年～平成21年
・7回 新潟地区WSを開催（主催、共催）
・平成22年9月 第8回WS開催予定
大学施設、教員（チーフタスク & タスク）、事務部職員・・・・・・全面的支援

新潟県内での認定実務実習指導薬剤師登録数 :264名

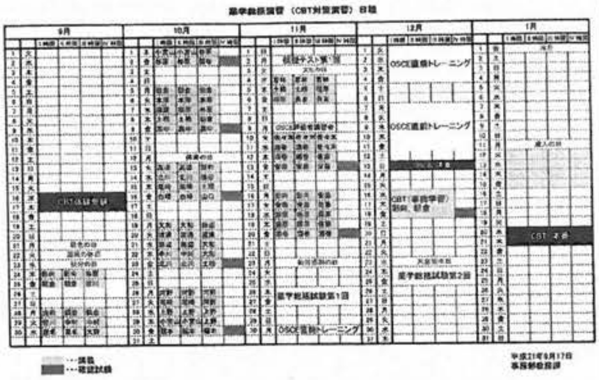
CBTについて

共用試験対策委員会

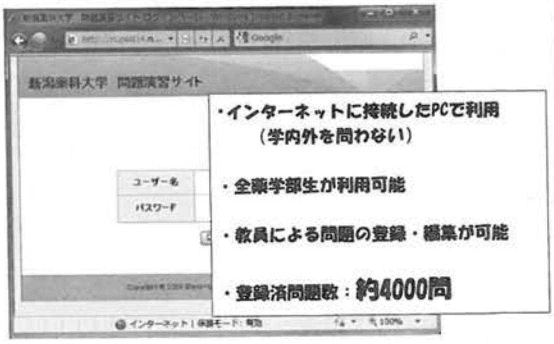
2009年度4年生

	6年制 4年生 (161 名)	4年制 4年生 (17 名)	卒業延期生 (27 名)
4 月			卒業試験演習
5 月			
	実務実習事前学習	病院・薬局実務実習	
6 月			
7 月			卒業試験

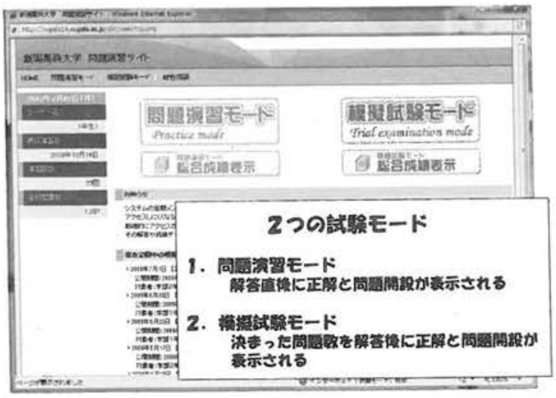
	6年制4年生	4年制4年生
9 月	CBT体験受験(16、17日)	国家試験対策演習
	薬学総括演習	
10 月		
11 月		
	OSCE直前トレーニング	
12 月	OSCE(12月13日)	
1 月	CBT(20、21日)	
		卒業試験



自己学習支援システム



システム開発：株式会社プレスユー



平成21年度 薬学共用試験OSCE
～臨床教育におけるOSCEの位置づけ～

朝倉俊成

実施責任者

学長	山崎幹夫
実行委員長 薬学部長	北川幸己
総括責任者 臨床実務教育委員長	若林広行
運営責任者	朝倉俊成
評価・入力責任者	杉原多公通

臨床実務教育委員会

課題責任者/担当者		
領域1	影向聡昭	酒巻利行
領域2－1	河野健治	神田博吉
領域2－2	河野健治	飯村菜穂子　影山美穂
領域3	上野和行	福本恭子
領域4	河野健治	笹木睦子
領域5	渡邉賢一	張馬梅蕾

拡大委員会委員

SP指導責任者　南雲陽子

事務部　鈴木正利　茂木弘邦　生野昭雄　服部貴史

領域ごとの責任者・担当者制：OSCE運用全体を効率的に管理・推進

概　要

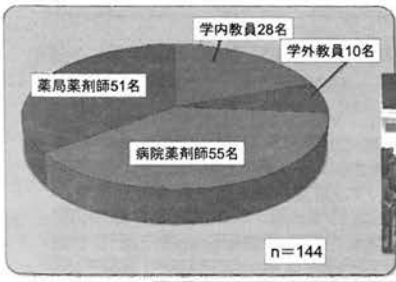
1. OSCE実施日時：平成21年12月13日（日）
2. OSCE受験学生人数：155名
3. 評価者参加人数：144名
4. SP参加人数：58名
5. スタッフ参加人数：90名（本学教職員，アルバイト学生）

OSCE受験学生

人数：155名

【実施方法】
- 7レーン（6レーン＋予備1レーン）
- 受験生を27G（1G6名）に割り当て，午前13Gと午後14Gで実施
- 全G一斉開始方式
- 全受験生参加（欠席者なし）

評価者



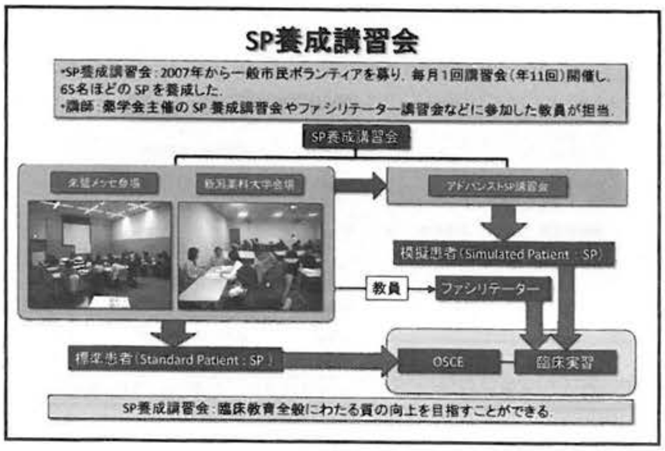
学内・学外評価者とも，複数の領域（課題）をマスターしてもらう

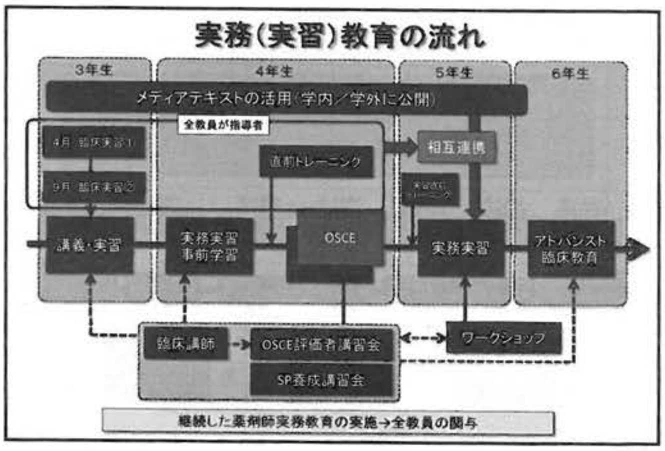
評価者講習会	2008年	2009年（前半）	2009年（直前）
学内（教員）	2回	1回	1回
学外評価者	2回		2回

学内：全教員の参加→密度の濃い教育が可能．全教員が薬剤師実務を理解する．

SP（Standard Patient：標準患者）
参加者58名

- SP養成講習会を受講したSPに依頼．
- 直前SP講習会を3回開催した．





OSCEと臨床教育におけるOSCEの位置づけ

まとめ

- 領域ごとの責任者・担当者制：
  OSCE運用全体を効率的に管理・推進．
- 全教員の参加：
  全教員が薬剤師実務を理解する．
  →実習先の訪問指導に活かすことができる．
- SPの養成：
  標準患者，模擬患者，ファシリテーターの養成．
  →臨床教育全般の質を高めることができる．
- メディアテキストの活用：
  実習，実務実習事前学習，直前トレーニング等で活用．
  学外にも公開　→大学の実務教育を理解してもらえる．
  →連携のとれた実務実習が可能．

2008年度
高度薬剤師教育研究センター
活動報告

長友孝文　高中紘一郎
上野和行　若林広行
影向範昭　朝倉俊成
渡邉賢一　北川幸己

薬剤師生涯研修認定制度認証
機関認定

認定薬剤師制度とは？

一定期間、集合研修や自己研修を受講して定められた単位を取得することで「生涯における自己研鑽により資質向上努力を継続している薬剤師」として有効期限を設けた証明を受けることができる制度。

一般社団法人　薬剤師あゆみの会理事長　狭間研至

主な活動内容

Ⅰ　第129年会日本薬学会発表
Ⅱ　薬剤師生涯研修認定制度認証機関認定
　　記念講演会
Ⅲ　バイタルサイン研修会
Ⅳ　研修グループの活動内容
Ⅴ　平成20年度生涯教育講座活動内容
Ⅵ　認定単位数
Ⅶ　研修認定薬剤師　認定者数
Ⅷ　平成21年度高度薬剤師教育研究センター
　　研修プログラ　ム開催実績

Ⅰ　第129年会　日本薬学会発表

演題名: 薬剤師認定制度認定機構より認証された新潟薬科大学
　　　　薬剤師生涯教育の取り組み

要旨:本学の高度薬剤師教育研究センターは、医療現場の現役の薬剤師の生涯学習の意欲に応えるために本学卒業生や他大学卒業の薬剤師の生涯学習を支援している。本センターはこれまでの生涯学習支援の取り組みが評価されて、平成20年9月1日付けで「薬剤師生涯研修認定制度認証機関」よりプロバイダーとして認証(G09)された。本取り組みについて報告する。

発表年月日:2009年3月28-29日
場所:京都国際会館

■「処方せんの薬効解析」研修グループ(責任者:長友 孝文)
・受講生:杉山恵理、高橋由紀子
・今年度の実績
佐藤内科クリニックの佐藤万成先生と閉塞性動脈硬化症(ASO)および高脂血症患者にイコサペント酸エチル(EPA)投与による降圧効果作用について検討をおこなった。実験方法として、佐藤内科クリニックに通院中で本研究に同意したASOおよび高脂血症患者を対象とした。使用薬剤としてEPAとして、エパデールS600あるいはS900(持田製薬(株))を用いている患者を抽出し、データの解析をおこなった。研究期間は、2005年6月4日から2008年3月31日であった。ASOおよび高脂血症患者へのEPA投与量および投与方法は、600 mg(S600)～1800 mg(S900)であり、また1日1～3回毎食直後に経口的に服用してもらった。なお、研究期間において、EPAを継続的に服用していたことを患者へのインタビューにより確認した。また、併用薬剤として循環器疾患治療薬や高脂血症治療薬等を服用している患者は除外した。血圧は、上腕動脈より血圧計を用いて最大血圧(収縮期血圧)および最低血圧(拡張期血圧)を測定した。同時に脈拍数/分も測定した。また、血清コレステロール値の測定酵素法(コレステロールオキシダーゼ・DAOS法)を用いて定量した。このような方法を用いてEPA投与による効果を投与後600日まで追跡し、データを集計をおこない、EPAの降圧効果について検討をおこなった。その結果、以下のように学会発表および論文投稿をおこなった。
・学会発表:1)杉山恵理、高橋由紀子、佐藤万成、長友孝文(閉塞性動脈硬化症および高脂血症患者に対するエイコサペント酸エチルの降圧効果。第41回日本薬剤師会学術大会(宮崎、2008年10月12日ー13日)
・投稿論文:1)杉山恵理、高橋由紀子、佐藤万成、長友孝文。閉塞性動脈硬化症患者に対するイコサペント酸エチル(EPA)の降圧効果。Progress in Medicine(基礎・臨床)29, 435-440 (2009)、2)杉山恵理、高橋由紀子、佐藤万成、長友孝文。高脂血症患者に対するイコサペント酸エチル(EPA)の降圧効果。医療薬学(印刷中)(2009)
・次年度の予定
さらに引き続いてASOおよび高脂血症患者に対するEPAの脂質代謝、肝機能、腎機能に対する効果についても検討をおこなう予定である。また、両疾患を併発している患者についても同様の研究をおこなう予定である。

■「薬物体内動態解析」研修グループ(責任者:上野 和行)
・受講生:福本恭子、三浦雅彦、山田仁志、三星知、鈴木光幸、小林貴志、飯島亜沙美 他
・今年度の実績
薬物動態学の講義とその臨床への展開のための講習会を、毎月第4木曜日19:30～21:30まで実施した。また、平成20年度は特に医薬品適正使用の一環として、ジェネリック医薬品の使用実態調査研究を講習会のメンバーで実施した。アンケート調査目的、アンケート表の作成、アンケート調査表の配布、そして結果の解析なども講習会のメンバーで委員会を立ち上げて種々検討した。その結果、新潟県内の病院薬剤師および保険調剤薬局薬剤師約850名、また保険調剤薬局の約2500名の患者を対象としてジェネリック医薬品に対するアンケート調査が実施できた。その結果ジェネリック医薬品の使用促進には薬剤師の果すべき役割は非常に大きいことが明らかになった。本研究結果は委員会のメンバーを中心に論文化し、専門誌に投稿した。既に受理の確約を取っている。
一方、本グループ主催の大討論会として、平成20年7月30日19:30からB102講義室にて「ジェネリック医薬品を考える～使用推進のカギはこれだ!～」の勉強会を実施した。アドバイザーとして慶応義塾大学大学院中村洋教授に参加してもらい、医療経済学の観点からの意見をいただいた。また多くの企業の参加があった。参加者約90名であった。
・投稿論文:福本恭子、大石美也、大久保亜弥、大久保静嗣、齋藤幹央、栗原敬子、三浦雅彦、山岸美恵子、小林貴志、飯島亜沙美、鈴木光幸、三星知、山田仁志、上野和行。ジェネリック薬品の使用に対する薬剤師および患者の意識調査。ジェネリック研究、印刷中。
・次年度の予定
さらに、引き続いて薬剤師に対する医薬品の適正使用のための講習会と薬物動態学の臨床への展開への支援を予定である。また、平成21年度は再度大討論会を予定している。薬剤師だけでなく、全企業への参加の呼びかけを考えている。

■「『健康食品と医薬』の調査・研究」研修グループ(責任者:渡辺 賢一)
・受講生:井上幹雄、中野るり子、田中裕子、嶋崎裕子、水戸沙耶佳
・今年度の実績
(1)桑葉の血糖値に及ぼす影響
[目的]桑葉にはα－グリコシダーゼ阻害活性をもつ1－デオキシノジリマイシンが含まれている。 桑葉パウダーのデオキシノジリマイシン含有量と糖質分解能を検討した。 更に、耐糖能異常者と正常血糖値成人における桑葉粉末の有効性と安全性について検討した。 [方法と対象](1)桑葉パウダーの基礎実験として、ラット小腸アセトンパウダーを用いて二糖類水解酵素阻害活性を茶葉と比較検討し、蒸発光散乱検出高速液体クロマトグラフィー法にて桑葉パウダー中のデオキシノジリマイシン含有量を検討した。 (2)臨床試験の対象は、正常血糖値成人5名(N群)と耐糖能異常者8名(H群)のボランティア計13名である。 1回スプーン一杯(約1.8g)の桑葉パウダーを水・白湯に溶かし、食前に1日3回計桑葉5.4g/日を3ヵ月間飲用し、空腹時血糖・HbA1c・血液生化学・尿検査を検討した。 [結果](1)桑葉のマルターゼ阻害活性は茶葉と同等であったが、スクラーゼ阻害活性は茶葉の約10倍の強い阻害作用が見られた。 桑葉パウダー中のデオキシノジリマイシン含有量は128±12mg/100mg Leaf(0.13±0.01%)であった。(2)全例で、診察所見・自覚所見の有害事象は見られなかった。 N+H群では、摂取開始時と比べ3ヵ月後に空腹時血糖(127±11mg/dlから105±5mg/dl、)・HbA1c(5.7±0.3%から5.4±0.2%)尿酸・総コレステロール・中性脂肪の有意な低下が見られた。 N群とH群に分けて検討するとH群では、摂取1ヵ月後から空腹時血糖の低下傾向が見られ、開始時と比較して3ヵ月後には空腹時血糖とHbA1cの有意な低下が見られた。[総括]桑葉パウダーにはデオキシノジリマイシンが0.13%含まれ、茶葉よりもスクラーゼ阻害活性が強い。 桑葉パウダー摂取後、正常血糖値者では血糖値に変化は見られなかったが、耐糖能異常者では緩やかに血糖値を降下させ、安全性が高いことが示唆された。
(2)メタボリック症候群に対する健康食品の開発
最近、メタボリック症候群が話題になっている。 そこで、桑葉以外の健康食品を検索中である。
・次年度の予定
上記(1)(2)研究を、継続する予定である。

■「医療コミュニケーション」研修グループ(責任者:高中 紘一郎)
・受講生:24名
・今年度の実績
【特別講演会】(平成20年10月5日(日) 午後1時半ー3時半 / 新潟市万代市民会館 306視聴覚室)
演題:「最近の医療コミュニケーションの実践」ー6年制でコミュニケーションはこのように教えられているー
講師:日本大学薬学部専任講師、日本ファーマシューティカルコミュニケーション学会理事 井手口直子 先生
【特別講演会】(平成20年1月24日(土) 午後2時半ー5時 / 新潟ユニゾンプラザ:5階特別会議室)
演題:「医療コミュニケーションの学び方」ーコミュニケーション学習の手法演習ー
講師:東京理科大学薬学部教授、日本ファーマシューティカルコミュニケーション学会理事 後藤恵子 先生
日本大学薬学部専任講師、日本ファーマシューティカルコミュニケーション学会理事 井手口直子 先生
【演習学習会】(平成20年10月25日(土)、11月29日(土)、12月14日(日)、1月25日(日)、2月28日(土)、3月28日(土)
午後3時ー6時 / 新潟薬科大学 上新栄町キャンパス)
参考書:「実践ファーマシューティカルコミュニケーション指導のスキルが上がる」
担当:新潟薬科大学 南雲陽子 臨床講師、高中紘一郎 准教授
【発表論文】
題目:「患者からの苦情を基にしたコミュニケーション手法の改善」
著者:宇野可奈子*1、小林賢司*2、高井亮*2、橋本巧*2、山下弘毅*3、南雲陽子*1、高中紘一郎*1
所属:*1新潟薬科大学 高度薬剤師教育研究センター、*2全快堂薬局グループ、*3新潟県立中央病院
Journal of Pharmaceutical Communication 5-11, Vol.6 No.6 (2008)
・次年度の予定
さらに、平成21年度に演習学習会と特別講演会をおこなう予定である。平成22年1月10日に、日本ファーマシューティカルコミュニケーション学会を新潟市「朱鷺メッセ」で開催するので、この学会へ向けた取り組みを行う。

■「糖尿病専門薬剤師」研修グループ(責任者:朝倉 俊成)
・受講生:新潟県内外の病院勤務薬剤師、開局調剤薬局勤務薬剤師(コースI:21名、コースII:24名)
・今年度の実績
<コースI(基礎コース):講義・手技体験。参加者出席率92%>
<コースII(応用コース):討議・見学。参加者出席率82%>

コースIにて基礎を学び、コースIIでは、基礎知識をもとに、糖尿病患者への実践的なアプローチに必要な討議を行った。
糖尿病患者への服薬指導スキルの向上のみならず、討議においては、毎回活発な意見が交わされ、薬剤師同士の意見交換の場となった。各コース終了時に総括試験を行い、修了証書を交付した。
・投稿論文:朝倉俊成、原 栄子、影山美穂、影向範昭、「薬剤師を対象とした手技体験によるインスリン注入器の使用感評価—フレックスペンを基準としたときのミリオペンとソロスターの評価—」、新薬と臨牀、57(9) 1476-1482 (2008)
・次年度の予定:さらに引き続いてコースI・コースIIの開催する予定である。また、臨床研究・論文を進めるコースIIIの開催も予定している。

[illegible]

[illegible]

II 薬剤師生涯研修認定制度認証機関認定
記念講演会
国民から求められる資質と薬剤師像

期日:2009年2月21日(土)
場所:新潟薬科大学J201教室

記念講演1 資質の向上とは
内山充(認証機構理事長)
記念講演2 薬剤師の明るい未来像
永田泰造(日本薬剤師会)
記念講演3 21世紀の薬剤師の将来像
山田勝士(日本病院薬剤師会)
記念講演4 薬剤師に対する国民の期待
関野秀人(厚労省)

新潟薬科大学
高度薬剤師教育研究センター
第2回 公開シンポジウム

期日:2009年10月17日(土)15:40-17:35
場所:新潟薬科大学 J-201 講義室

15:40 挨拶

15:45-16:40 乾 賢一(京都大学医学部附属病院薬剤部長・教授)
「輝ける薬学・薬剤師の未来に向けて」

16:40-17:35 狭間 研至(一般社団法人 薬剤師あゆみの会 理事長)
「薬局薬剤師にとってのバイタルサインとは?」～
「薬局3.0」で見えてきたその意義と課題～

17:50-19:20 懇親会(新潟薬科大学カフェテリア)

III バイタルサイン研修会

バイタルサインとは、呼吸、脈拍、血圧、体温のことで、人類の基本的な生命徴候である。また、バイタルサインは、重篤な薬による副作用の早期発見などの指標としても重要な情報であり、患者の自覚症状と他覚症状を観察することは薬剤師にとって今後重要な職能の1つになることが予想される。
そこで、この研修会において、バイタルサインの基本的な知識と技法を習得することを目的とする。

期日:2010年2月14日(日)
受講生(定員):50名
場所:新潟薬科大学臨床研修室
研修項目:患者に対する ① 血圧の測定、② 脈拍の測定:聴診器の使い方、③ 体温、④ 呼吸、⑤ 自覚症状の把握と他覚症状のフィジカルアセスメント、⑥ 薬疹、足の浮腫のチェック、⑦ 心電図の見方
講師:日高 宏(医学博士)
東京大学医学部卒(昭和41年)
現在、臨床医として勤務しながらサンド株式会社のCEO付メディカル・アドバイザー

Ⅳ 研修グループの活動

- ❐ 処方せんの薬効解析： 長友孝文 教授
- ❐ 医療コミュニケーション： 高中紘一郎 准教授
- ❐ 薬物体内動態解析： 上野和行 教授
- ❐ 健康食品と服薬： 渡辺賢一 教授
- ❐ 糖尿病専門薬剤師： 朝倉俊成 准教授
- ❐ 医薬品構造解析： 杉原多公道 教授

原著論文リスト

1）杉山恵理、井海由紀子、佐藤万成、長友孝文。閉塞性動脈硬化症患者に対するイコサペント酸エチル（EPA）の降圧効果。Prog Med（基礎・臨床）29, 435–440 (2009)

2）杉山恵理、高橋由紀子、佐藤万成、長友孝文。高脂血症患者に対するイコサペント酸エチル（EPA）の降圧効果。診療と新薬 46, 40–44 (2009)

3）朝倉俊成、原 栄子、影山美穂、影向範昭。薬剤師を対象とした手技体験によるインスリン注入器の使用感評価ーフレックスペンを基準としたときのミリオペンとソロスターの評価ー。新薬と臨牀、57(9) 1476–1482 (2008)

4）福本恭子、大石美也、大久保亜弥、大久保耕嗣、齋藤幹央、栗原敬子、三浦雅彦、山岸美恵子、小林貴志、鹿島亜沙美、鈴木光幸、三星知、山田仁志、上野和行。ジェネリック薬品の使用に対する薬剤師および患者の意識調査。ジェネリック研究、印刷中。

5）宇野可奈子、小林賢司、高井亮、橋本巧、山下弘毅、南雲陽子、高中紘一郎。患者からの苦情を基にしたコミュニケーション手法の改善。Journal & Pharmaceutical Communication 6(6)5–11 (2008)

6）影山美穂、朝倉俊成、影向範昭。薬剤師生涯教育における糖尿病指導研修への取り組み。ジャニファ 168、34–35 (2008)

Ⅴ　生涯教育講座

平成２１年度 新潟薬科大学『薬剤師生涯教育講座』

（新潟薬科大学高度薬剤師教育研究センター「生涯研修認定制度」対象　研修プログラム）
共催：新潟県薬剤師会、新潟県病院薬剤師会、新潟薬科大学薬学部同窓会

会場：朱鷺メッセ（新潟コンベンションセンター）４階 国際会議場（マリンホール）
新潟市中央区万代島６－１（電話０２５－２４６－８４００）

第１回　４月１８日（土）　１５：００～１７：００
『緩和医療と薬剤師』
済生会横浜市南部病院　薬剤部長　加賀谷　肇先生

第２回　５月１６日（土）　１５：３０～１７：００
『患者さんに優しいがん治療』
東京大学医学部附属病院放射線科　准教授・緩和ケア診療部長　中川　恵一先生

第３回　６月２０日（土）　１５：００～１７：００
『リウマチの病態と最新薬物治療』
新潟県立リウマチセンター　院長　村澤　章先生

第４回　７月２５日（土）　１５：００～１７：００
『在宅医療と薬剤師～愛情と尊重をもって接する温かな関係～』
スギメディカル株式会社　教育事業部　主任研究員　川村　和美先生

第５回　８月２２日（土）　１５：００～１７：００
『患者から見た薬剤師像』
ＮＰＯささえあい医療人権センターＣＯＭＬ　理事長　辻本　好子先生

第６回　９月２６日（土）　１５：００～１７：００
『医薬品情報の収集と活用のために』
東京大学大学院薬学系研究科医薬品情報学講座　准教授　大谷　壽一先生

第７回　１０月２４日（土）　１５：００～１７：００
『薬剤師に必要な血糖モニタリングの考え方と実践例』
東京慈恵会医科大学糖尿病・代謝・内分泌内科　講師　西村　理明先生

第８回　１１月　７日（土）　１５：００～１７：００
『心房細動の薬物治療～実践的なノウハウを知る～』
杏林大学医学部第二内科　准教授　池田　隆徳先生

第９回　１２月１９日（土）　１５：００～１７：００
『薬剤師のための薬疹講義』
新潟大学大学院医歯学総合研究科分子細胞医学専攻細胞機能講座
教授　伊藤　雅章先生

平成22年度『薬剤師生涯教育講座』

新潟薬科大学高度薬剤師教育研究センター
「生涯研修認定制度」対象 研修プログラム）

共催：新潟県薬剤師会、新潟県病院薬剤師会、
新潟薬科大学薬学部同窓会

会場：朱鷺メッセ（新潟コンベンションセンター）
4階 国際会議場（マリンホール）
新潟市中央区万代島6－1
（電話025－246－8400）

第1回　4月10日(土)　15:00～17:00
『新しい創傷治療』:石岡第一病院　傷の治療センター　センター長　夏井　睦 先生

第2回　5月15日(土)　15:00～17:00
『薬剤、サプリメントによるがん予防:現状と展望』:国立がんセンター　予防研究部長　津金　昌一郎 先生

第3回　6月12日(土)　15:00～17:00
『妊娠と薬剤』:虎の門病院　薬剤部長　林　昌洋 先生

第4回　7月24日(土)　15:00～17:00
『新型インフルエンザ～医療者としての対応と抗ウイルス薬の使用について～』:　新潟大学大学院医歯学総合研究科国際感染医学講座公衆衛生学分野　教授　鈴木　宏 先生

第5回　8月21日(土)　15:00～17:00
『サプリメントと健康被害』:国立健康・栄養研究所　情報センター長　梅垣　敬三 先生

第6回　9月11日(土)　15:00～17:00
『レスポンダーとノンレスポンダー』:兵庫医療大学薬学部臨床ゲノム薬理学分野　教授　東　純一 先生

第7回　10月9日(土)　15:00～17:00
『生活習慣病の最新栄養管理』:京都大学医学部附属病院疾患栄養治療部　栄養管理室長　幣　憲一郎 先生

第8回　11月6日(土)　15:00～17:00
『男性更年期障害の現状～その病態と最新治療～』:長野赤十字病院第二泌尿器科　部長　天野　俊康 先生

第9回　12月11日(土)　15:00～17:00
『薬剤による腎障害の現状と対策』:新潟大学大学院医歯学総合研究科内部環境医学講座(第二内科)　教授　成田　一衛 先生

VI　認定単位数

(本学主催研修　1)

配布先		開催日	担当講師等	発給単位数		発給対象者内訳(人)		
				講師用	受講者用	病院	薬局	その他
生涯教育講座	薬剤師生涯教育講座	2009/4/18	加賀谷　肇	1	446	102	258	86
生涯教育講座	薬剤師生涯教育講座	2009/5/16	中川　晋一	0	414	94	244	76
大学院特論セミナー	臨床薬剤学大学特論セミナー	2009/5/22	若林　広行	0	10	3	3	4
グループ研修	糖尿病専門薬剤師 I	2009/5/27	朝倉　俊成	0	32	8	18	6
グループ研修	糖尿病専門薬剤師 I	2009/6/4	朝倉　俊成	0	31	5	18	8
グループ研修	医療コミュニケーション	2009/6/6	高中　紘一郎	0	22	1	7	3
グループ研修	糖尿病専門薬剤師 I	2009/6/18	朝倉　俊成	1	31	7	16	8
生涯教育講座	薬剤師生涯教育講座	2009/6/20	村澤　寛	0	392	81	232	79
グループ研修	糖尿病専門薬剤師 I	2009/7/2	朝倉　俊成	1	31	7	16	8
グループ研修	糖尿病専門薬剤師 I	2009/7/9	朝倉　俊成	1	30	6	18	6
グループ研修	医療コミュニケーション	2009/7/12	高中　紘一郎	0	22	4	4	3
生涯教育講座	薬剤師生涯教育講座	2009/7/25	川村　和美	1	335	70	205	60
グループ研修	医療コミュニケーション	2009/8/1	高中　紘一郎	0	12	3	5	4
生涯教育講座	薬剤師生涯教育講座	2009/8/22	辻本　好子	0	284	164	85	55
グループ研修	糖尿病専門薬剤師 II	2009/8/27	朝倉　俊成	1	24	7	13	4
グループ研修	医療コミュニケーション	2009/9/13	高中　紘一郎	0	14	2	4	1
グループ研修	糖尿病専門薬剤師 II	2009/9/17	朝倉　俊成	1	22	6	11	5
生涯教育講座	薬剤師生涯教育講座	2009/9/26	大谷　啓一	0	301	66	174	61

(本学主催研修 2)

配布先		開催日	担当講師等	発給単位数		発給対象者内訳(人)		
				講師用	受講者用	病院	薬局	その他
グループ研修	医療コミュニケーション	2009/10/3	高中　紘一郎	0	12	2	2	2
記念講演会	第2回公開シンポジウム	2009/10/17	長友　孝文	0	65	9	54	2
グループ研修	糖尿病専門薬剤師 II	2009/10/18	朝倉　俊成	3	57	6	10	3
生涯教育講座	薬剤師生涯教育講座	2009/10/24	西村　昭明	0	300	70	170	56
グループ研修	糖尿病専門薬剤師 II	2009/11/5	朝倉　俊成	1	20	7	10	3
生涯教育講座	薬剤師生涯教育講座	2009/11/7	池田　隆信	0	280	55	169	56
グループ研修	医療コミュニケーション	2009/11/7	高中　紘一郎	0	6	2	1	0
グループ研修	糖尿病専門薬剤師 II	2009/11/19	朝倉　俊成	1	20	5	10	5
グループ研修	糖尿病専門薬剤師 II	2009/12/17	朝倉　俊成	1	8	2	3	3
生涯教育講座	薬剤師生涯教育講座	2009/12/19	伊藤　豊章	0	238	56	131	51
グループ研修	糖尿病専門薬剤師 II	2010/1/28	朝倉　俊成	1	14	5	7	2
グループ研修	糖尿病専門薬剤師 II (特別シンポジウム)	2010/1/16	朝倉　俊成	4	36	16	18	2
				18	3518	871	1895	676
						内訳合計		3442

(認定研修実施団体　1)

認定登録団体名	開催日	発給単位数	
		講師用	受講者用
創作用研究会	2009/4/11	5	84
新潟薬剤師スキルアップ研究会	2009/4/22	0	25
下越医療薬学研究会	2009/6/10	2	45
新潟市薬剤師会	2009/6/15	1	8
新潟薬剤師スキルアップ研究会	2009/7/1	0	21
新潟県薬剤師糖尿病ネットワーク	2009/7/26	0	80
新潟市薬剤師会	2009/6/15	1	8
新潟薬剤師スキルアップ研究会	2009/7/1	0	21
新潟市薬剤師会	2009/8/3	1	12
新潟市薬剤師会	2009/8/4	0	39
新潟市薬剤師会	2009/8/4	0	9
新潟市薬剤師会	2009/8/4	1	23
新潟市薬剤師会	2009/8/8	1	8
新潟市薬剤師会	2009/8/11	1	6
新潟市薬剤師会	2009/8/20	1	9
新潟市薬剤師会	2009/8/22	0	9
新潟市薬剤師会	2009/8/27	1	18

(認定研修実施団体　2)

認定登録団体名	開催日	発給単位数	
		講師用	受講者用
新潟市薬剤師会	2009/8/20	1	9
新潟市薬剤師会	2009/8/25	1	12
新潟市薬剤師会	2009/9/12	12	80
下越医療薬学研究会	2009/9/9	2	62
薬薬連携研修会	2009/9/9	1	40
上越薬剤師業務研究会	2009/10/2	1	34
新潟薬剤師スキルアップ研究会	2009/10/28	0	21
上越薬剤師業務研究会	2009/11/13	1	35
新潟県薬剤師糖尿病ネットワーク	2009/12/6	0	54
薬薬連携研修会	2009/12/2	1	60
創作用研究会	2009/12/12	8	78
上越薬剤師業務研究会	2010/1/27	0	42
		43	952

(学会)

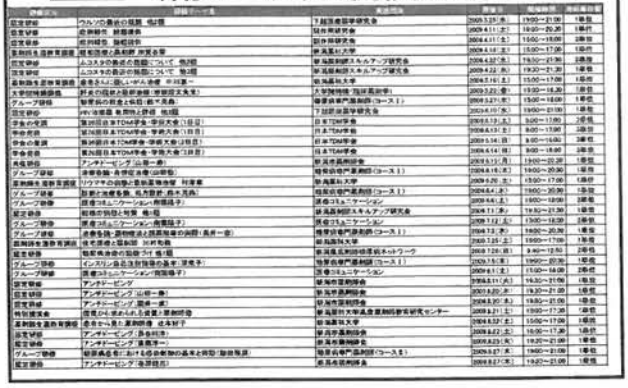
学会名	開催日	発給単位数	
		講師用	受講者用
日本TDM学会	2009/6/13	0	1302
日本TDM学会	2009/6/14	1	1230
新潟応用薬理シンポジウム	2009/12/5	0	11
日本ファーマシューティカルコミュニケーション学会	2010/1/9	8	—
日本ファーマシューティカルコミュニケーション学会	2010/1/9	—	160
日本ファーマシューティカルコミュニケーション学会	2010/1/10	6	—
日本ファーマシューティカルコミュニケーション学会	2010/1/10	—	344
日本ファーマシューティカルコミュニケーション学会	2010/1/10	2	—
		17	3047

VII 研修認定薬剤師 認定者数

■認定薬剤師証発行状況

審査会日	新規	更新
2009年6月	2	0
2009年7月	1	1
2009年8月	1	1
2009年9月	1	0
2009年10月	2	0
2009年11月	1	1
2009年12月	1	0
2010年1月	0	0
合計	9	3

VIII 平成21年度高度薬剤師教育研究センター 研修プログラム開催実績

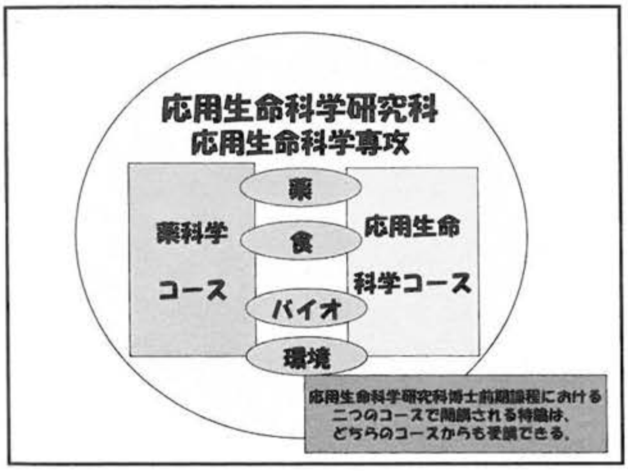


外部評価員によるコメント

- 薬剤師の生涯教育を担うという主旨から本センターが設立され、昨年は認証機構からプロバイダーとして認定されている。スタートしたばかりであるが、地域医療の向上および薬剤師の高度化に向けて、これからの積極的な運営が望まれる。
- 高邁な理想に向かって着実な実績を上げられるよう発展を期待したい。

応用生命科学研究科博士前期課程

「薬科学コース」の開設について



応用生命科学研究科薬科学コース

アドミッション・ポリシー

新潟薬科大学大学院応用生命科学研究科応用生命科学専攻薬科学コース（博士前期課程）は、新潟薬科大学薬学部が今日までに培ってきた創薬科学研究と医療薬科学研究をもとに、応用生命科学部の研究基盤である〝食〟、〝バイオ〟、及び〝環境〟の知識・技術をインテグレートした創薬科学系・健康科学系研究者及び技術者を育成することを目標としています。薬学部出身者のみならず、生命科学全般への好奇心と研究心をもった方、社会人及び留学生を幅広く募集します。